



第2期

袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2020-2025 令和2-令和7

2023（令和5）年度

数値目標及び重要業績評価指標（KPI）

の実績値に対する検証

令和6年8月

袖ヶ浦市 企画政策部 企画政策課

I. 効果検証の趣旨等

1. 効果検証の趣旨

令和2年3月に策定した第2期袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下：「第2期総合戦略」とする）は、4つの基本目標及びこれらの目標を横断する2つの共通目標（2頁別表参照）を定め、基本目標ごとの数値目標及び基本的方向ごとの重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）を設定しています。

今回、第2期総合戦略の令和5年度における取組の結果について、数値目標及びKPIの実績により成果や課題を検証し、第2期総合戦略の更なる推進を図ろうとするものです。

2. 第2期総合戦略の概要

（1）第2期総合戦略策定の背景

国では、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生することを目指して、平成26年（2014年）度に長期ビジョン及び第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、その成果を踏まえ、令和元年（2019年）12月に第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方創生のより一層の充実・強化に取り組んでいくこととしています。

本市においても、平成28年2月に袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第1期総合戦略」とする）を策定し、地方創生の推進を図ってきましたが、国が新たに示す視点や第1期総合戦略の効果検証を踏まえ、地方創生への課題解決を進めるため、第2期総合戦略を策定しました。

（2）総合戦略の位置づけ

総合戦略は、袖ヶ浦市人口ビジョンにおいて提示する本市の将来展望を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条の規定により、本市における「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」に一体的に取り組むため、今後の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

（3）対象期間と推進体制

第2期総合戦略の対象期間は、2020年（令和2年）度から2025年（令和7年）度までの6か年とし、全庁的な体制で地方創生の取組を推進するとともに、袖ヶ浦市総合計画審議会において取組状況を検証し、必要な改善を図りながら進めていくものとしています。

基本目標	基本的方向	具体的な施策
基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち 袖ヶ浦	1. 結婚・出産・子育て支援の充実 	(ア) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実 (イ) 幼児期の教育・保育の充実 (ウ) 地域で子育てする仕組みの充実
	2. 学校教育の充実 	(ア) 教育環境の充実 (イ) 特色ある教育の推進
	1. 基盤産業である工業の持続的な振興 	(ア) 市内立地企業の競争力強化 (イ) 市外からの企業誘致の促進
	2. 未来を切り拓く力強い農業の実現 	(ア) 担い手の確保・育成と農地の集約化による有効活用 (イ) 農業の基盤及び競争力の強化
	3. 就労支援による「働く場」の創出 	(ア) 企業と人の効果的なマッチングによる雇用促進 (イ) 誰もが働きやすい環境の実現
基本目標 2 いきいきと働くことができるまち 袖ヶ浦	1. 人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進 	(ア) 観光振興による交流人口の拡大 (イ) 商業振興による交流人口の拡大
	2. 人・資金の流れの強化 	(ア) 働く世代を中心とした移住・定住の促進 (イ) 関係人口の創出・拡大 (ウ) 新たな資金の流れの創出・拡大 (エ) 地域資源を活用した効果的かつ継続的なシティプロモーション
	1. 活発でまとまりのある都市づくりの推進 	(ア) 快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成 (イ) 持続的な交通ネットワークの形成 (ウ) 公共施設等の計画的、効果的な利用 (エ) 広域連携の推進
	2. 健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備 	(ア) 市民の健康づくり活動の支援 (イ) 地域における支え合い体制の確立
	3. 安全で安心な地域づくり 	(ア) 防災力の充実 (イ) 防犯体制の充実 (ウ) 交通安全の推進
【共通の目標 1】 地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進	1. 地域コミュニティの活性化の推進 	
	2. 誰もが活躍できる地域社会づくりの推進 	
【共通の目標 2】 新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進	1. Society5.0の実現に向けた技術の活用 	
	2. SDGsの達成に向けた地方創生の推進	

Ⅱ. 第2期総合戦略 数値目標及びKPIの効果検証

基本目標1 ～結婚・出産・子育ての希望がかなうまち 袖ヶ浦～

国や県と連携しながら、結婚、出産、子育てに関する希望や理想実現を支援するとともに、子どもが欲しいと考える市民を後押しすることで、市民の結婚や出産、子育てに関する希望がかなうまちを目指します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
合計特殊出生率	1.67 (H30)	1.56 ※R4参考値	1.74 (R6)
安心して子育てができると思う人の割合	73.5% (R1)	78.3%	77.0%

※合計特殊出生率は、9月に千葉県が公表するため、昨年度の出生率を参考値としています。

●数値目標実績値

- ・「合計特殊出生率」は、令和4年度の参考値になりますが、基準値より0.11ポイント減少しました。(千葉県内の市町村においては第1位)
- ・「安心して子育てができると思う人の割合」は、基準値より4.8ポイント上昇し目標値を上回っております。

基本的方向 1 結婚・出産・子育て支援の充実

本市は、子育て世帯の転入などに起因した社会増加により人口が増加を続けてきましたが、近い将来に人口減少局面を迎えることが予想されています。

今後予想される少子化や人口減少に対応していくためには、社会増加への取組に加え、出生率を高めるための取組が重要となります。

本市の出生率は県内平均を上回っている状況が続いていますが、今後においても、本市の恵まれた子育て環境の中で、より多くの方に、結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを生み育ててもらうために、出会いから結婚・出産・子育てまで切れ目ない総合的な支援を行います。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
婚姻届の件数（年間）	604 件 (H30)	556 件	700 件
待機児童数（4月1日現在）	28 人 (R1)	2 人	0 人
ファミリーサポートセンターの援助件数（年間）	491 件 (H30)	407 件	560 件

（年間）は、当該年度の集計値

●令和5年度に実施した主な取組

- ・結婚支援事業【結婚相談の実施、特設休日相談の開催、婚活イベントの開催】
- ・不妊治療費等助成事業【不妊治療費助成、検査費助成】
- ・子育て世代包括支援事業【子育て世代総合サポートセンターでの相談受付、支援】
- ・放課後児童クラブ支援事業【昭和小・蔵波小区クラブ開所、奈良輪小区公募】
- ・私立保育施設等整備助成事業【認可保育所整備支援】

●令和5年度の実績値

- ・「婚姻届の件数」は、基準値より48件減少しました。
- ・「待機児童数」は、私立保育施設等の開設に伴い、令和4年度実績値より21人減少し、基準値より26人減少しました。
- ・「ファミリーサポートセンターの援助件数」は、基準値より84件減少しました。

●今後の方針

未婚化や晩婚化の進展により、更なる加速が懸念されている少子化への対策については、新しい試みも取り入れた出会いの場を創出するなどの取組を推進します。

また、私立保育所の整備支援による保育定員の拡充等により、大幅に待機児童が減少したことから、引き続き地域の状況に応じた適切な施設整備を継続します。

基本的方向 2 学校教育の充実

長い期間をかけて培われてきた本市の特色である教育の更なる充実に向けて、「生きる力」を育む学校教育の要素となる「確かな学力」や「豊かな心」、「健やかな体」のバランスの取れた児童生徒の育成に努めます。

親が子どもの将来に希望が持て、子どもが未来に向けて、自らの人生を拓き、生き抜いていくための力を培っていくため、今後も引き続き、基礎・基本の確実な習得による確かな学力の向上、豊かな人間性を育む心の教育の充実、家庭や地域の教育力を生かした教育を推進します。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合	88.4% (H30)	90.7%	90.0%
「挨拶がよくできる」児童生徒の割合	87.9% (H30)	89.0%	90.0%

●令和5年度に実施した主な取組

- ・小中学校基礎学力向上支援教員配置事業【基礎学力向上支援教員の配置】
- ・小中学校体験活動推進事業【全小中学校で自然体験活動を実施】
- ・小中学校情報教育推進事業【教育情報化推進計画に基づく情報教育機器の整備】
- ・小中学校特別支援教員活用事業【全小中学校への特別支援教員の配置】
- ・学校 ICT 教育支援事業【ICT 機器、学習ソフトの活用支援】
- ・蔵波小学校校舎増築事業【蔵波小学校校舎増築整備】
- ・子どもを育む、学校・家庭・地域連携事業【学校支援ボランティアの募集】
- ・児童・生徒指導センター運営事業【不審者対応訓練への協力、防犯教室の実施】

●令和5年度の実績値

- ・「学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合」は、基準値より 2.3 ポイント上昇し目標値を上回っております。
- ・『「挨拶がよくできる」児童生徒の割合』は、基準値より 1.1 ポイント上昇しました。

●今後の方針

小中学校において ICT 機器を活用した教育により、児童生徒の学習の基盤となる情報活用能力の育成を図ります。

また、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を認識し、連携・協力を進め、家庭や地域の教育力を生かした教育を推進します。

その他、子育て世帯の転入による児童生徒の増加に伴い、普通教室等が不足することが無いように計画的に学校施設を整備します。

基本目標2 ～いきいきと働くことができるまち 袖ヶ浦～

本市の基盤産業である工業や農業の持続的発展を図り、市内産業で多くの働く場・機会を確保するとともに、さまざまな業種・業態の「しごと」によって多くの人を惹きつけ、市民がいきいきと安定的・長期的に働くことができるまちを目指します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
創業件数（年間）	8件 (H30)	27件	10件
新規就農者数（年間）	2人 (H30)	8人	2人
市内の職場が働きやすい（働きやすそう）と感じる市民の割合	47.1% (R1)	54.6%	48.9%

（年間）は、当該年度の集計値

●数値目標実績値

- ・「創業件数」は、27件であり目標値を上回りました。
- ・「新規就農者数」は、8人であり目標値を上回りました。
- ・「市内の職場が働きやすい（働きやすそう）と感じる市民の割合」は、基準値より7.5ポイント上昇し目標値を上回っております。

基本的方向 1 基盤産業である工業の持続的な振興

本市の特色である、全国有数の工業が立地する臨海部のコンビナートや椎の森工業団地は、市の産業の根幹を支えるとともに、雇用、税収面でも多大な役割を担っています。

本市に立地する企業が地域に根差し、本市の産業を先導していけるよう、企業が事業活動しやすい環境整備に取り組み、本市に立地する価値を高めていきます。

また、市内の中小企業の生産性の向上や競争力の強化、創業支援、事業承継対策などの支援に取り組み、地域経済の好循環を推進します。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
企業振興条例指定件数（年間）	2件 (H30)	8件	5件
進出希望企業と土地所有企業のマッチング 成立数（累計）	0件 (R1)	—	2件

（年間）は、当該年度の集計値

（累計）は、基準値からの増減の集計値

●令和5年度に実施した主な取組

- ・企業等振興支援事業【企業振興条例及び椎の森工業団地企業立地促進条例に基づく奨励制度の運用】
- ・中小企業支援事業【融資及び利子補給制度の運用、キャッシュレスポイント還元事業】

●令和5年度の実績値

- ・「企業振興条例指定件数」は、8件であり目標値を上回りました。
- ・「進出希望企業と土地所有企業のマッチング成立数」は、産業用地利活用についてのアンケート調査の結果、大規模の未利用地情報は新たに見出せず取組が広がる状況にないため、令和2年度で事業を終了したため、実績はありません。

●今後の方針

引き続き、企業振興条例に基づく設備投資を促進し、工業の持続的な振興を図るとともに、中小企業が有する多様な課題に対応し、ニーズに応じたきめ細やかな対応を行うことで、地域経済の好循環を推進します。

基本的方向 2 未来を切り拓く力強い農業の実現

本市は、肥沃な大地や温暖な気候などの恵まれた自然環境に加え、首都圏に位置するという立地性から、水稻、野菜、果樹、酪農、養鶏などが盛んに行われていますが、農家の高齢化による担い手の不足や災害のリスクなど、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

このような中、本市の農業の未来を切り拓くため、豊かな地域資源を活かした農業ビジネスを強化し、収益性の高い農業経営を展開しながら、担い手の育成や農業基盤整備、付加価値を持った農畜産物づくりなどに取り組み、力強い農業への転換を図るとともに、収穫体験などの農業体験を通じて交流人口の増加を図ります。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
認定農業者数（累計）	159人 (H30)	222人	225人 ^{※1} 192人
地域計画(旧 人・農地プラン)作成件数(累計) ^{※2}	6件 (H30)	7件	9件
6次産業化の取組件数（累計）	5件 (H30)	9件	10件 ^{※3} 8件

（累計）は、基準値からの増減の集計値

※1 実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R3年度検証時）

※2 R5年度に人・農地プランから地域計画に名称が変更されました。（R5年度検証時）

※3 実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4年度検証時）

●令和5年度に実施した主な取組

- ・担い手育成・支援対策事業【地域計画（旧 人・農地プラン）策定推進】
- ・新規就農者支援対策事業【新規就農者への補助】
- ・県営経営体育成基盤整備事業【県営事業工事負担金】
- ・土地改良推進事業【野里大和田地区地形図作成業務】
- ・農畜産物の魅力向上事業【イベントでの農産品のPR、6次産業化取組支援】
- ・体験農園支援事業【市内の体験農園等のPR、体験農園開設希望者の支援】

●令和5年度の実績値

- ・「認定農業者数」は、基準値より63人増加しました。
- ・「地域計画(旧 人・農地プラン)作成件数」は、基準値より1件増加しました。
- ・「6次産業化の取組件数」は、基準値より4件増加しました。

●今後の方針

認定農業者など担い手の育成を推進するとともに、農地の利用集積の促進や経営規模の拡大を図り、効率の良い生産体制の構築を支援していきます。

基本的方向 3 就労支援による「働く場」の創出

多くの人々が市内に定住するため、安定した所得を得ることができるよう、雇用機会の確保に努めます。

一方、市内企業においても働き手不足が深刻な課題となっており、高い生産性と労働者の満足度の双方を実現していくような働き方や、女性や高齢者など多様なライフスタイルに応じた働き方を実現する雇用形態の導入への意識啓発を図り、働き手不足の解消に努めます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
就労マッチングへの参加人数（年間）	97人 (H30)	106人	125人
就労マッチングによる就職者数（年間）	0人 (H30)	2人	10人

（年間）は、当該年度の集計値

●令和5年度に実施した主な取組

- ・雇用促進事業【高校2・3年生を対象とした企業説明会の開催、外国人雇用に関するアンケートの実施】
- ・介護人材確保育成支援事業【研修受講費助成、資格取得費助成】
- ・多様なニーズに応じた保育サービス事業【一時預かり・延長・休日・病児・病後児保育の実施】
- ・就労支援事業【関係機関と連携したセミナーの開催、職業的自立相談会の開催】
- ・シルバー人材センター支援事業【補助金の交付、運営支援】

●令和5年度の実績値

- ・「就労マッチングへの参加人数」は、基準値より9人増加しました。
- ・「就労マッチングによる就職者数」は、基準値より2人増加しました。

●今後の方針

市内事業所における必要な雇用の確保、意欲を持つ人がいきいきと働くことのできる就業機会と就労環境の整備のため、雇用機会の確保に努めます。

また、女性や高齢者など多様なライフスタイルに応じた働き方を実現する雇用形態の導入への意識啓発を図ります。

基本目標3 ～訪れる人も満足できるまち 袖ヶ浦～

豊かな自然や観光資源などを最大限に活かし、地域の活性化と魅力向上を図り、本市に住むことの魅力を高め、家族や友人などに誇れるまちとすることで、転入促進と転出抑制につなげるとともに、県内外から袖ヶ浦市に人を呼び込み、訪れる観光客が満足できるまちを目指します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
年間観光入込客数（年間）	177万人 (H30)	174万人	185万人
人口動態における社会増減数	－ (R1)	2,351人	2,500人※ 1,500人 (期間合計)
本市に今後も「住み続けたい」と思う市民の割合	87.0% (R1)	89.2%	90.0%

（年間）は、当該年度の集計値

「人口動態における社会増減数」については、令和元年度からの増減を数値目標としています。

※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4年度検証時）

●数値目標実績値

- ・「観光入込客数」は、基準値より3万人減少しましたが、令和4年度実績値より16万人増加しました。
- ・「人口動態における社会増減数」は、子育て世帯の転入が多く、令和元年度から2,351人増加しました。
- ・「本市に今後も『住み続けたい』と思う市民の割合」は、基準値より2.2ポイント上昇しましたが、令和4年度実績値より1.2ポイント減少しました。

基本的方向 1 人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進

本市は東京湾アクアラインの活用により都心からのアクセス性が高いうえ、東京ドイツ村や多くの若者を動員する音楽イベント、観光農園などの市外から人を呼び込める観光資源や、自然が多く残された里山や美しい景観、のどかな田園地帯などの地域資源があり、都会にはない観光地としての魅力を有しています。

今後も持続的に人が集うために、趣味やレジャーの多様化により変化している観光客のニーズに対応するとともに、本市が有する強みや地域の特性を活かして、これまで以上に人々が行き交い、にぎわいのあるまちとしての魅力を高める取組を推進します。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
年間観光入込客数（年間）【再掲】	177万人 (H30)	174万人	185万人
特産推奨品認定数（累計）	6品 (H29)	10品	10品* 8品
一店逸品・そでジョブ参加事業者数（年間）	28店 (H30)	50店	33店

（年間）は、当該年度の集計値 （累計）は、基準値からの増減の集計値
 ※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4年度検証時）

●令和5年度に実施した主な取組

- ・袖ヶ浦市観光協会活動支援事業【観光協会への補助金交付、運営支援】
- ・観光情報発信事業【デジタル版観光ガイドマップの運用、SNSを活用した情報発信】
- ・観光・直売型農業推進事業【収穫体験の開催、地元農産物のPR販売】
- ・地域回遊促進事業【レンタサイクルの運営、サイクルツーリズムの推進】
- ・商店街魅力向上事業【一店逸品事業、そでジョブの開催、商工会が行う市民交流活動への支援】

●令和5年度の実績値

- ・「観光入込客数」は、基準値より3万人減少しましたが、令和4年度実績値より16万人増加しました。
- ・「特産推奨品認定数」は、令和2年度に目標値である10品に達しました。令和5年度に新たな認定はありませんでした。
- ・「一店逸品・そでジョブ参加事業者数」は、内房総アートフェスと連携したイベントを開催したことで基準値より22店増加し、目標値を上回りました。

●今後の方針

本市観光の魅力を発信するため、SNS等を積極的に活用し、引き続き市内観光需要の拡大を図っていきます。

基本的方向 2 人・資金の流れの強化

本市は、子育て・教育の充実、全国有数の工業や大地が育む農業をはじめとする各産業、魅力を感じられる住宅地や身近な生活ニーズに対応できる商業地などがバランスよく配置され、都心部への利便性の高い交通アクセスや多様な地域資源などを有しています。

このような本市が有する強みや地域の特性を活かして、働く世代を中心とした移住・定住促進や、交流人口・関係人口の創出・拡大、新たな資金の流れの強化、シティプロモーションの取組を進め、人が集まる活気あるまちづくりを進めます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
世代間支え合い家族支援制度利用者数（年間）	14人 (H30)	12人	13人
ふるさと納税寄附金額（年間）	35,515千円 (H30)	70,647千円	72,129千円 ^{※1} 69,460千円
千葉県・東京都・神奈川県での市の認知度	44.1% (R1)	— R7に調査 実施予定	32.3% ^{※2} 50.0%

（年間）は、当該年度の集計値

※1 実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R5年度検証時）

※2 「そでがうらシティプロモーション戦略基本方針」の中間評価において、調査エリアを拡大したことに合わせ目標値を見直しました。（R4年度検証時）

●令和5年度に実施した主な取組

- ・空家等対策事業【空家バンク制度の運用】
- ・田園空間施設維持管理事業【田んぼの学校、収穫体験】
- ・都市公園交流機会創出事業【公園まつりの実施、ネーミングライツ施設の導入】
- ・山野貝塚保存活用事業【史跡の維持管理、整備基本設計】
- ・スポーツツーリズム推進事業【各種大会の誘致及び開催協力】
- ・ふるさと納税推進事業【新たな返礼品の追加】
- ・シティプロモーション推進事業【市内周遊型イベントの実施、シティプロモーション動画の配信など各種媒体を活用したPR】

●令和5年度の実績値

- ・「世代間支え合い家族支援制度利用者数」は、基準値より2人減少しました。
- ・「ふるさと納税寄附金額」は、アースモンダミンカップのチケットなど新たな返礼品を追加したことで、基準値より35,132千円増加し、目標値を上回りました。

●今後の方針

都心部への利便性など本市が有する強みや地域特性を活かして、移住・定住促進や交流人口・関係人口の創出・拡大とともに資金の流れを強化し、人が集まる活気あるまちづくりを進めます。

基本目標 4 ～安心して暮らせるまち 袖ヶ浦～

必要な機能を一定の地域にコンパクトに集約し、各拠点間の交通ネットワークの充実に努めるとともに、既存の公共施設等の計画的・効果的な活用を図るなど、ストックマネジメントに取り組むことで、質の高い暮らしのための都市づくりを推進します。

また、地域における保健・福祉環境の整備や、防災・防犯、交通安全の取組を進め、安心して暮らせるまちを目指します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
住環境が快適であると思う市民の割合	52.7% (R1)	55.9%	61.0%
地域で支え合って安心して暮らしている市民の割合	59.1% (R1)	59.7%	65.0%
日頃から災害への備えをしている市民の割合	49.7% (R1)	61.4%	60.0%

●数値目標実績値

- ・「住環境が快適であると思う市民の割合」は、基準値より 3.2 ポイント上昇しました。
- ・「地域で支え合って安心して暮らしている市民の割合」は、基準値より 0.6 ポイント上昇しましたが、令和 4 年度実績値より 2.6 ポイント減少しました。
- ・「日頃から備えをしている市民の割合」は、基準値より 11.7 ポイント上昇し、目標値を上回りましたが、令和 4 年度実績値より 4.3 ポイント減少しました。

基本的方向 1 活発でまとまりのある都市づくりの推進

人口減少社会にあっても、市が継続的に成長するためには、長期的な視点に立った都市基盤の整備と、地域と地域を連携し、人と人の交流を支え、新たな価値を生み出す地域づくりを進めることが重要です。

人口減少社会に対応するために、中心市街地や内陸部の住宅地、集落地等の地域特性に応じたコンパクトで良好な市街地の形成と、各拠点間の道路網や交通ネットワークの構築による計画的なまちづくりを進め、集約型都市構造の形成を図ります。

地域社会で必要とされる公共施設等の適正配置・適正規模化等と財政健全化を両立させるための検討を進めます。

事務の効率性や有効性といった観点から、国において広域行政への取組が推進されており、必要に応じて広域連携の取組を進めていきます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
良好なまち並みや景観が形成されていると思う市民の割合	54.8% (R1)	62.4%	61.0%
都市計画道路の整備率	84.9% (R1)	85.9%	86.7%
路線バス利用者数（補助路線）	176,945人 (H30)	208,764人	178,000人

●令和5年度に実施した主な取組

- ・市街化調整区域土地利用適正誘導事業【地区計画制度の周知】
- ・西内河根場線建設事業【道路改良工事（県事業）】
- ・地域公共交通づくり事業【バス路線維持の補助金交付、デマンド交通の実証運行（長浦地区）】
- ・高齢者移動支援事業【高齢者タクシー利用券の助成、事業周知】
- ・ファシリティマネジメント推進事業【公共施設等総合管理計画・公共施設再配置方針の進行管理、幽谷分校の利活用に向けた市場調査の実施】
- ・次期広域廃棄物処理事業【一般廃棄物・産業廃棄物処理施設設置許可の手続き完了、土木建築工事の着工】

●令和5年度の実績値

- ・「良好なまち並みや景観が形成されていると思う市民の割合」は、基準値より 7.6 ポイント上昇し、目標値を上回りました。
- ・「都市計画道路の整備率」は、基準値より 1.0 ポイント上昇しました。
- ・「路線バス利用者数（補助路線）」は、基準値より 31,819 人増加し、目標値を上回りました。

●今後の方針

市街化調整区域における地区計画ガイドラインについては、引き続き、出前講座等による周知を実施し、地域の特性を活かした計画的なまちづくりを進めます。

市内における移動手段の確保については、地域公共交通計画に基づき、地域特性や移動ニーズに応じた公共交通ネットワークの構築を目指します。

基本的方向 2 健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備

市民一人ひとりが主体的に健康の保持・増進に取り組み、健康寿命を延伸する意識づくりを進めます。

性別や年齢などを問わず、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して充実した生活を送れるよう、身近な地域の特性に合わせた活動の実施や世代間交流・地域交流の場づくりなどを支援し、地域での支え合い体制づくりなどの環境整備を進めます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
日常生活のなかで意識的に運動をしている人の割合	52.1% (H30)	52.9%	78.0%
住民主体型サービス活動団体数（累計）	4 団体 (H30)	11 団体	11 団体※ 8 団体

（累計）は、基準値からの増減の集計値

※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4 年度検証時）

●令和 5 年度に実施した主な取組

- ・特定健康診査等事業・特定保健指導事業【特定健康診査の実施、特定保健指導の実施、第 3 期保健事業実施計画の策定】
- ・健康づくり推進事業【シニア運動教室及び健康相談等の実施】
- ・一般介護予防事業【介護予防の普及啓発、はつらつシニアサポーターの養成】
- ・生活支援体制整備事業【生活支援コーディネーターの配置】
- ・認知症サポーター要請等事業【養成講座・ステップアップ研修の開催】
- ・高齢者見守りネットワーク事業【協力事業者・関係団体の拡大】

●令和 5 年度の実績値

- ・「日常生活のなかで意識的に運動をしている人の割合」は、基準値より 0.8 ポイント上昇しました。
- ・「住民主体型サービス活動団体数」は、基準値より 7 団体増加しました。

●今後の方針

引き続き、市民一人ひとりが、ライフステージに応じた健康づくりに主体的に取り組むことができるよう、各種教室、相談、検診等の環境整備を図っていきます。

また、地域の実情に応じた介護予防の取組や生活支援サービスの充実などにより、高齢者がいきいきと可能な限り住み慣れた地域で安心して生活することができるように取り組みます。

基本的方向 3 安全で安心な地域づくり

誰もが安全・安心に住み続けていくためには、災害に強く、犯罪が少ないことなどが市民にとって住みよさの前提となります。

災害への備えと発生時の対応力の向上を図るため、自助・共助・公助の連携による地域防災力の充実に取り組むとともに、消防・防災体制の強化に努め、災害に強い安全で安心な地域づくりを進めます。

また、市民、警察、行政等の連携による地域に密着した防犯活動や交通安全意識の向上を図り、市民が安全・安心に暮らせることができるよう取り組みます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
自主防災組織結成数（累計）	74 組織 (H30)	80 組織	81 組織
自主防犯組織の設立数（累計）	41 団体 (R1)	42 団体	46 団体
交通安全教室・講習会の延べ参加者数	11,148 人 (H30)	6,008 人	9,779 人

（累計）は、基準値からの増減の集計値

●令和 5 年度に実施した主な取組

- ・庁舎整備事業【既存新庁舎（中庁舎）耐震補強及び大規模改修工事、南庁舎建設工事】
- ・災害情報等伝達手段確保事業【防災行政無線・IP 無線の維持管理】
- ・地域防災力向上事業【自主防災組織結成の促進】
- ・防犯対策推進事業【防犯情報の周知、街頭防犯カメラ・防犯灯の設置】
- ・交通安全対策事業【交通安全教室の実施】

●令和 5 年度の実績値

- ・「自主防災組織結成数」は、基準値より 6 組織増加しました。
- ・「自主防犯組織の設立数」は、基準値より 1 団体増加しましたが、令和 4 年度実績値より 1 団体減少しました。
- ・「交通安全教室・講習会の延べ参加者数」は、基準値より 5,140 人減少しました。

●今後の方針

地域防災力の強化のため、自主防災組織の充実・拡充を推進するとともに、災害発生時に適切な情報発信を行うために防災行政無線などの維持管理及び運用を行い、災害から市民の生命と財産を守ります。

また、街頭防犯カメラなどの整備により防犯対策を推進し、犯罪発生を抑制するとともに、自主防犯組織による地域の防犯体制の強化を支援します。

共通の目標 1

～地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進～

地域内のコミュニティを活性化させるため、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として積極的に地域活動に参加し、地域の実情に応じた、地域で支え合う体制づくりを推進します。

また、女性、高齢者、若者などが交流し、誰もが役割を持ち、多様な人材が活躍できる地域づくりを推進します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
まちづくりに関心のある市民の割合	66.7% (R1)	71.2%	72.0%
地域活動に参加している（したことがある）市民の割合	51.9% (R1)	56.0%	64.0%

●数値目標実績値

- ・「まちづくりに関心のある市民の割合」は、基準値より 4.5 ポイント上昇しましたが、令和 4 年度実績値より 0.3 ポイント減少しました。
- ・「地域活動に参加している（したことがある）市民の割合」は、基準値より 4.1 ポイント上昇しました。

基本的方向 1 地域コミュニティの活性化の推進

近年では、自治会や市民活動団体等の地域コミュニティ活動は、防災活動や災害時の援護活動、地域福祉活動、清掃活動、公園の維持管理活動など、様々な分野に広がっており、地域課題の解決に重要な役割を担っています。

市民一人ひとりが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けることができるよう、地域における人のつながりを深め、市民相互の交流による活力あふれるコミュニティを形成するとともに、市民自らが主体的に地域コミュニティに参加し、市民・地域・事業者・行政など様々な主体が互いに連携・協力して、住みやすいまちづくりを促進します。

また、市民一人ひとりが生きがいを持って暮らせる地域をともにつくっていくため、身近な地域の特性に合わせた活動の実施や世代間交流・地域交流の場づくりなどを支援し、地域における支え合いの仕組みづくりを進めます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
自治会加入率	62.8% (R1)	56.7%	66.0%
人材活用制度の登録者の活動回数（年間）	0回 (R1)	0回	20回

（年間）は、当該年度の集計値

●令和5年度に実施した主な取組

- ・自治振興対策事業【自治会運営・自治会結成の支援】
- ・まちづくり活動促進事業【まちづくり講座の開催】
- ・地域まちづくり協議会支援事業【長浦地区まちづくり協議会の運営支援、根形地区まちづくり協議会の交流会の開催】
- ・市民協働推進事業【協働事業提案制度の実施、協働のまちづくり推進計画の策定】

●令和5年度の実績値

- ・「自治会加入率」は、転入世帯の自治会加入が進んでいないことなどが要因となり、基準値より6.1ポイント減少しました。
- ・「人材活用制度の登録者の活動回数」は、まちづくり講座等を開催し、人材の育成や確保に取り組んだものの、具体的な制度の創設やそれに基づく人材登録にまで至らなかったことから、令和5年度中の活動は実施されませんでした。

●今後の方針

地域コミュニティの活性化・維持のため、地域団体が互いに連携しながら地域活動が活発に行われるよう、時代にあった仕組みづくりや運営方法の支援等について検討していきます。

基本的方向 2 誰もが活躍できる地域社会づくりの推進

人口減少や少子高齢化の進行、女性の就労機会の拡大、外国人訪問者の増加と定住化の進展など、社会の価値観の多様化が進む中で、本市の活力を維持・発展させるために、市民の誰もが生きがいを持って、それぞれの持つ力を活かすことができ、本人の希望に応じて活躍できるまちづくりを進めます。

また、性別、国籍等の違いに対する市民の理解を深め、あらゆる分野においてその個性や能力を発揮して活躍できる地域社会の実現に取り組みます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
就労支援セミナー・相談会参加者数（年間）	17人 (H30)	7人	23人
就労マッチングによる就職者数（年間）【再掲】	0人 (H30)	2人	10人
男女共同参画セミナー等の参加者数（年間）	120人 (H30)	406人	540人※ 430人

（年間）は、当該年度の集計値

※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R5年度検証時）

●令和5年度に実施した主な取組

- ・生活困窮者自立支援事業【相談支援員・就労支援員の配置】
- ・男女共同参画推進事業【男女共同参画セミナーの開催、第5次計画策定】
- ・多文化共生推進事業【ホームページの生活支援情報の多言語化、日本語教室開催支援】
- ・国際交流推進事業【国際交流イベント等の開催、補助金等による国際交流協会及び市民活動団体の活動支援】

●令和5年度の実績値

- ・「就労支援セミナー・相談会参加者数」は、基準値より10人減少しました。
- ・「就労マッチングによる就職者数」は、基準値より2人増加しました。
- ・「男女共同参画セミナー等の参加者数」は、オンラインでの開催により、基準値より286人増加し、目標値を上回りました。

●今後の方針

社会の価値観の多様化が進む中で、ニーズに応じた各種セミナーや講演会等の開催を検討し、誰もが活躍できる地域社会づくりの推進を図ります。

共通の目標 2

～新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進～

Society5.0の実現に向けた技術（未来技術）の進展は、人口減少や少子高齢化の課題に対処することや、モノやサービスの生産性や利便性を飛躍的に高め、産業や生活等の質を大きく変化させるものと期待されているところであり、本市においても取組を推進していきます。

また、持続可能な開発目標（SDGs）の理念（「誰一人取り残さない」社会の実現）を踏まえ、地方創生の推進を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R5)	目標値 (R7)
ICT化により効率的な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合	10.3% (R3)	54.4%	75.0%* 20.0%
SDGsを認知している市民の割合	—	84.5%	100%* 60.0%
SDGsを実践している市民の割合	—	67.5%	80.0%* 25.0%

数値目標については、目標を明確化することにより、Society5.0とSDGsに関わる事業への取組を推進するため、令和3年度に追加しました。

※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4年度検証時）

●数値目標実績値

- ・「ICT化により効率的な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合」は、基準値より44.1ポイント上昇しました。
- ・「SDGsを認知している市民の割合」は、令和4年度実績値より9.6ポイント上昇しました。
- ・「SDGsを実践している市民の割合」は、令和4年度実績値より15.4ポイント上昇しました。

基本的方向 1 Society5.0 の実現に向けた技術の活用

現在、国において、医療・教育などの様々な分野での ICT 利活用推進や、交通と宿泊等の関連する複合的なサービスを一体的なサービスとして提供する MaaS、施設立地の最適化等により課題解決を加速化させるスマートシティなど、様々な分野で今後の地方創生に新しい技術を活用する検討が進められています。

本市においても、人材不足等の課題解決や効率的・効果的な行財政運営を図るため、AI や RPA などの最新の情報処理技術を活用するとともに、教育、医療、交通、サービス業、農林業など様々な分野でも新しい技術を活用した取組を検討し、地方創生の取組の一層の充実・深化につなげます。

●令和 5 年度に実施した主な取組

- ・全庁 LAN システム再整備事業【庁舎整備に伴う全庁 LAN システム用ネットワークの敷設・機器の移設、全庁 LAN 端末更新】
- ・標準化対応基幹情報システム導入事業【標準準拠システム移行支援契約の締結、標準仕様書と現行システムの差異分析等の実施】
- ・学校 ICT 教育支援事業【ICT 機器、学習ソフトの活用支援】

●今後の方針

人的資源が限定される中で、質の高い公共サービスを継続するため、国が進める基幹系システムの標準化や自治体 DX 推進計画による ICT の有効活用を図ります。

基本的方向 2 SDGs の達成に向けた地方創生の推進

持続可能な開発目標（SDGs）は、全ての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、経済・社会・環境を巡る広範な課題解決に統合的に取り組むものであり、SDGsを達成するための取組が日本を含め各国で進められています。

本市においても、各施策とSDGsの各目標との関連性を明確化するとともに、地方創生の推進を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

●令和5年度に実施した主な取組

- ・各種計画の策定においてSDGsの各目標との関連性を明確化
- ・SDGs達成に向けた取組強化のための包括連携協定の締結

●今後の方針

引き続き、各種計画等市の施策とSDGsの各目標との関連性を明確化し、地方創生の推進及び企業等との連携を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

Ⅲ. 総合計画審議会による令和5年度数値目標及びKPI の検証

◆ 基本目標1～結婚・出産・子育ての希望がかなうまち袖ヶ浦～

結婚・出産・子育て支援の充実では、婚姻届の件数のKPI実績値が基準値を下回ったが、前回よりも改善された。全国的な未婚化や晩婚化の進展により、更なる少子化への対策が望まれる。また、私立保育所の整備支援による保育定員の拡充等により待機児童は大幅に減少している。引き続き、地域の状況に応じた適切な施設の整備等、待機児童解消に向けた取組が望まれる。

学校教育の充実では、小中学校基礎学力向上支援教員配置事業等の取組や学校ICT教育の推進により、KPI実績値は順調に推移している。

◆ 基本目標2～いきいきと働くことができるまち袖ヶ浦～

基盤産業である工業の持続的な振興では、企業振興条例指定件数のKPI実績値が目標値を上回った。引き続き、工業の持続的な振興を図るとともに、中小企業が有する多様な課題に対応し、ニーズに応じたきめ細やかな対応が望まれる。

未来を切り拓く力強い農業の実現では、認定農業者数のKPI実績値が基準値を上回り、順調に目標値へ近づいている。引き続き、認定農業者など担い手の育成を推進するとともに、農地集積の促進や地域計画の作成を支援し、効率の良い生産体制の構築への支援が望まれる。

就労支援による「働く場」の創出では、企業説明会の再開により、就労マッチングへの参加人数のKPI実績が基準値を上回ったが、就労マッチングによる就職者数は目標値には達していない。依然として働き手不足が深刻化していることから、多様な世代が希望する形で就労できるような雇用機会の確保が望まれる。

◆ 基本目標3～訪れる人も満足できるまち袖ヶ浦～

人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進では、観光入込客数のKPI実績値は、いまだ基準値を下回っているものの、増加傾向にあり、順調に目標値へ近づいている。引き続き、変化する観光ニーズに対応し、市内観光の需要を拡大させるため、本市の魅力や地域の特性を活かした情報発信の充実が望まれる。

人・資金の流れの強化では、ふるさと納税寄付金額のKPI実績値は基準値を大幅に上回り、目標値も上回った。引き続き、魅力ある返礼品の発掘や創出が望まれる。

◆ 基本目標 4 ～安心して暮らせるまち袖ヶ浦～

活発でまとまりのある都市づくりの推進では、良好なまち並みや景観が形成されていると思う市民の割合と路線バス利用者数のKPI実績値は目標値を上回り、順調に推移している。引き続き、地域の特性を活かした計画的なまちづくりの推進が望まれる。

健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備では、日常生活の中で意識的に運動している人の割合のKPI実績値は基準値を上回り、前回よりも改善された。ライフステージに応じた健康づくりの向上や持続させる取組が望まれる。

安全で安心な地域づくりでは、交通安全教室・講習会の延べ参加者数のKPI実績値は基準値を大幅に下回ったため、改めて課題を把握し、幅広い世代が参加できるような開催内容の検討が望まれる。

◆ 共通の目標 1

～地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進～

地域コミュニティの活性化の推進では、自治会加入率のKPI実績値は基準値を下回り、減少が続いている。転入世帯の自治会加入が進んでいないことなどから、袖ヶ浦駅海側地区をはじめとする自治会未結成地区への結成支援が望まれる。

誰もが活躍できる地域社会づくりの推進では、就労支援セミナー・相談会参加者数のKPI実績値が基準値を下回ったが、男女共同参画セミナー等の参加者数はオンラインでの開催により目標値を大きく上回った。ニーズに応じたセミナーや開催方法を検討するなど、時代に対応した取組が望まれる。

◆ 共通の目標 2

～新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進～

Society5.0の実現に向けた技術の活用では、国の動向も踏まえた事業の検討や取組が望まれる。

SDGsの達成に向けた地方創生の推進では、市が行う各施策とSDGsの各目標との関連性を明確化し、SDGs達成に貢献する取組が望まれる。

以上のことから、令和5年度においてはアフターコロナの時代に対応した取組等により、KPIが改善された指標が多くあった。本市においては、依然として子育て世帯を中心に市外からの転入者が増加傾向で推移しているが、将来の人口減少や高齢社会の進展など、今後の社会経済状況の変化に対応した取組を検討し、目標達成に向けた取組の継続が望まれる。

【参考資料】 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の推移

袖ヶ浦市の人口推移

※各年10月1日現在

項目	R1	R2	R3	R4	R5	R1からR5までの 増加人数
総人口	64,028人	64,884人	65,254人	65,619人	65,926人	1,898人
年少人口(0～14歳)	8,706人	8,866人	8,936人	9,017人	9,015人	309人
生産年齢人口(15～64歳)	38,295人	38,673人	38,716人	38,868人	39,155人	860人
老年人口(65歳以上)	17,027人	17,345人	17,602人	17,734人	17,756人	729人

基本目標1 ～結婚・出産・子育ての希望がかなうまち 袖ヶ浦～

数値目標の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
合計特殊出生率	1.67 (H30)	1.41 ※R1参考値	1.63 ※R2参考値	1.36 ※R3参考値	1.56 ※R4参考値	1.74 (R6)
安心して子育てができると思う人の割合	73.5%(R1)	78.3%	82.4%	77.6%	78.3%	77.0%

基本的方向1 結婚・出産・子育て支援の充実

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
婚姻届の件数(年間)	604件(H30)	559件	594件	523件	556件	700件
待機児童数(4月1日現在)	28人(R1)	60人	46人	23人	2人	0人
ファミリーサポートセンターの援助件数(年間)	491件(H30)	566件	617件	374件	407件	560件

基本的方向2 学校教育の充実

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合	88.4%(H30)	90.2%	90.4%	89.1%	90.7%	90.0%
「挨拶がよくできる」児童生徒の割合	87.9%(H30)	88.6%	86.9%	88.8%	89.0%	90.0%

基本目標2 ～いきいきと働くことができるまち 袖ヶ浦～

数値目標の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
創業件数(年間)	8件(H30)	5件	17件	16件	27件	10件
新規就農者数(年間)	2人(H30)	1人	2人	4人	8人	2人
市内の職場が働きやすい(働きやすそう)と感じる市民の割合	47.1%(R1)	54.0%	56.0%	53.6%	54.6%	48.9%

基本的方向1 基盤産業である工業の持続的な振興

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
企業振興条例指定件数(年間)	2件(H30)	4件	2件	8件	8件	5件
進出希望企業と土地所有企業の マッチング成立数(累計)	0人(R1)	0人	—	—	—	2件

基本的方向2 未来を切り拓く力強い農業の実現

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
認定農業者数(累計)	159人(H30)	177人	195人	213人	222人	225人
地域計画(旧 人・農地プラン)作成件数(累計)	6件(H30)	6件	6件	7件	7人	9件
6次産業化の取組件数(累計)	5件(H30)	7件	7件	8件	9人	10件

基本的方向3 就労支援による「働く場」の創出

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
就労マッチングへの参加人数(年間)	97人(H30)	1人	0人	1人	106人	125人
就労マッチングによる就職者数(年間)	0人(H30)	1人	0人	0人	2人	10人

基本目標3 ～訪れる人も満足できるまち 袖ヶ浦～

数値目標の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
年間観光入込客数(年間)	177万人(H30)	126万人	147万人	158万人	174万人	185万人
人口動態における社会増減数	—(R1)	660人	1,290人	1,756人	2,351人	2,500人
本市に今後も「住み続けたい」と思う市民の割合	87.0%(R1)	90.3%	84.8%	90.4%	89.2%	90.0%

【参考資料】 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の推移

基本的方向1 人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
年間観光入込客数(年間)	177万人(H30)	126万人	147万人	158万人	174万人	185万人
特産推奨品認定数(累計)	6品(H29)	10品	10品	10品	10品	10品
一店逸品・そでジョブ参加事業者数(年間)	28店(H30)	22店	16店	12店	50店	33店

基本的方向2 人・資金の流れの強化

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
世代間支え合い家族支援制度利用者数(年間)	14人(H30)	10人	12人	15人	12人	13人
ふるさと納税寄附金額(年間)	35,515千円(H30)	54,156千円	58,011千円	87,139千円	70,647千円	72,129千円
千葉県・東京都・神奈川県での市の認知度	44.1%(R1)	—	—	29.3%	—	32.3%

基本目標4 ～安心して暮らせるまち 袖ヶ浦～

数値目標の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
住環境が快適であると思う市民の割合	52.7%(R1)	52.9%	49.4%	53.2%	55.9%	61.0%
地域で支え合って安心して暮らしている市民の割合	59.1%(R1)	61.0%	63.9%	62.3%	59.7%	65.0%
日頃から災害への備えをしている市民の割合	49.7%(R1)	66.2%	60.1%	65.7%	61.4%	60.0%

基本的方向1 活発でまとまりのある都市づくりの推進

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
良好なまち並みや景観が形成されていると思う市民の割合	54.8%(R1)	56.7%	56.1%	59.0%	62.4%	61.0%
都市計画道路の整備率	84.9%(R1)	84.9%	84.9%	85.9%	85.9%	86.7%
路線バス利用者数(補助路線)	176,945人(H30)	162,315人	185,006人	195,253人	208,764人	178,000人

基本的方向2 健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
日常生活のなかで意識的に運動をしている人の割合	52.1%(H30)	52.6%	41.9%	42.5%	52.9%	78.0%
住民主体型サービス活動団体数(累計)	4団体(H30)	6団体	8団体	10団体	11団体	11団体

基本的方向3 安全で安心な地域づくり

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
自主防災組織結成数(累計)	74組織(H30)	76組織	78組織	79組織	80組織	81組織
自主防災組織の設立数(累計)	41団体(H30)	44団体	42団体	43団体	42団体	46団体
交通安全教室・講習会の延べ参加者数	11,148人(H30)	3,057人	5,177人	6,525人	6,008人	9,779人

共通の目標1 ～地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進～

数値目標の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
まちづくりに関心のある市民の割合	66.7%(R1)	70.7%	60.8%	71.5%	71.2%	72.0%
地域活動に参加している(したことがある)市民の割合	51.9%(R1)	50.8%	50.7%	53.1%	56.0%	64.0%

基本的方向1 地域コミュニティの活性化の推進

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
自治会加入率	62.8%(R1)	61.4%	59.3%	57.9%	56.7%	66.0%
人材活用制度の登録者の活動回数(年間)	0回(R1)	0回	0回	0回	0回	20回

基本的方向2 誰もが活躍できる地域社会づくりの推進

重要業績評価指標(KPI)の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
就労支援セミナー・相談会参加者数(年間)	17人(H30)	13人	16人	15人	7人	23人
就労マッチングによる就職者数(年間)	0人(H30)	1人	0人	0人	2人	10人
男女共同参画セミナー等の参加者数(年間)	120人(H30)	52人	520人	45人	406人	540人

共通の目標2 ～新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進～

数値目標の状況

指標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)
ICT化により効率的な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合	10.3%(R3)	—	10.3%	54.0%	54.4%	75.0%
SDGsを認知している市民の割合	—	—	—	74.9%	84.5%	100.0%
SDGsを実践している市民の割合	—	—	—	52.1%	67.5%	80.0%